



Title	本研究会の活動（昭和六十三年・平成元年）
Author(s)	
Citation	詞林. 1989, 5, p. 54-54
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/67271">https://hdl.handle.net/11094/67271</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

本研究会の活動（昭和六十二年・平成元年）

第十五回（十月二十六日）

歌人の出発点

—長承三年為忠家歌合をめぐって—

佐藤明浩

第十六回（十一月十六日）

百番歌合詞書の書かれ方

西臺 薫

第十七回（十一月二十一日）

『三国伍燈記』について

鍾持雄一

第十八回（二月八日）

一休の杜牧贊について

中本 大

第十九回（三月八日）

堤 和博

『一条摂政御集』後半部の問題点

近本謙介

第二十回（三月十五日）

『當麻曼陀羅疎』所収の一、三の説話をめぐって

利用

国文学研究資料館におけるデータベースの現状

印刷は誤植との闘い

研究におけるパーソナル・コンピュータとデータベースの

春松 進一

年2冊刊 会費年三千円（予価）

ルナ企画（宇治市木幡内畠34-10-5-400-1 ■1114-1

三一一五九五八）・発売 同朋舎出版

人文科学データベース研究 第3号（一九八九年五月）

開拓企画

日本語処理の現状

私のパーソナル・コンピュータ史 大阪大学 菊池 城司

漢字のJIS標準セット拡張の動向 いわき明星大学 田嶋 一夫

自在な検索システムについて 国際日本文化研究センター 早川 間多

UNIXワークステーション上の日本語処理などについて 京都大学 萩谷 昌巳

パソコンによる古文の自動語彙分類—連載—第2回 大阪樟蔭女子大学 西端 幸雄

コンピュータによる法華経研究 東北大学 塚本 啓祥

データベースアーチャー 文字自動認識の試み 東北大学 川添 良幸  
京都大学 原田 勝

研究におけるパーソナル・コンピュータとデータベースの

利用

国文学研究資料館におけるデータベースの現状

印刷は誤植との闘い

研究におけるパーソナル・コンピュータとデータベースの

春松 進一

研究におけるパーソナル・コンピュータとデータベースの

利用

国文学研究資料館におけるデータベースの現状

印刷は誤植との闘い

研究におけるパーソナル・コンピュータとデータベースの